カリキュラム・マップ

現代心理学部の教育目的
「人間とは何か」という古くからの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学を通じ、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究すること。

学修成果
＜心理学科＞ 1）「人間とは何か」の根本問題に対し、心、身体、映像の3つの視点から理論的、技術的にアプローチでき、21世紀を生きる人間にとって有効な思考方法を身につけることができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「2. 専門性」、「4. キャリア展望を確立する力」と関連） 2） さらに、心理学、隣接・関連諸科学を構成する基礎的な諸概念を、包括的、学問的に理解し、問題の発見と解決に際して、それらを有効、的確に使用することができる。（「1. リベラルアーツの素養」、「2. 専門性」と関連） 3） 心理学に関する文献を理解するために必要な、心理学の歴史、主な研究領域、学説、統計手法に対する基礎知識と英文読解力を身につける。（「2. 専門性」と関連） 4） 心理学の基礎・応用に関連する事柄として、実験・調査・面接・テスト等に関する技術や方法論と、研究および実践活動に関する能力と専門知識を身につける。（「2. 専門性」、「6. 表現力」、「9. 社会的実践力」と関連） 5） 社会、企業、組織、地域、家庭における様々な問題解決に、心理学の知識と方法論を応用する能力を身につける。（「2. 専門性」、「5.他者を理解する姿勢」、「9. 社会的実践力」と関連）

現代心理学部心理学科（課程）のカリキュラム					現代心理学部心理学科の学修成果との関連 （◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）				
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学修成果	1）「人間とは何か」に対して多面的に理解し、有効な思考方法を身につける	2）心理学、隣接・関連諸科学の基礎的概念を理解し、説明することができる	3）心理学に関する文献理解のための基礎知識と英文読解力を身につける	4）心理学の基礎・応用に関連する事柄として、実験・調査・面接・テスト等に関する技術や方法論と、研究および実践活動に関する能力と専門知識を身につける	5）心理学の知識と方法論を問題解決に応用する能力を身につける
現代心理学入門	必修科目	○	1	心・身体・映像の知の総合と「新たな人間学」の構築をめざし、各担当教員が専門学・思考を基盤とする多様な発題を行い、専門学導入への契機とする。	◎	○			
キャリアと心理学	必修科目	○	1	職業的に、心理学の専門知識・経験がどのように社会的貢献につながるのかを学ぶことを通じて、自身の職業・キャリア選択について考える。	△				◎
心理学概論1	必修科目	○	1	心理学概論2と併せて、心理学の成り立ちを理解し、また人の心の基本的な仕組み及び働きについて学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識を身につける。	○	◎	△		
心理学概論2	必修科目	○	1	心理学概論1と併せて、心理学の成り立ちを理解し、また人の心の基本的な仕組み及び働きについて学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識を身につける。	○	◎	△		
心理学統計法1	必修科目	○	1	心理学を学び、研究する過程での様々な課題を解決するための道具として、統計に関する基本的な知識や手法を身につけ、使いこなせるようになる。				◎	◎
心理学統計法2	必修科目	○	1	心理学を学び、研究する過程での様々な課題を解決するための道具として、統計に関する基本的な知識や手法を身につけ、使いこなせるようになる。				◎	◎
心理学実験実習1（心理学実験）	必修科目	○	2	心理学実験の計画・立案や実施、データのまとめ方、統計に関する基礎的知識を用いた解析、報告書の作成に関して、具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学調査実習1	必修科目	○	2	心理学における調査、面接、テストの計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学文献講読1（A）～（D）	必修科目	○	2	心理学文献講読2と併せて、英語で記されたテキストを用いて心理学の代表的な研究知見に触れる。学説・理論や研究法について知るとともに、専門用語・概念の背景を理解する。		○	◎		
心理学文献講読2（A）～（D）	必修科目	○	2	心理学文献講読1と併せて、英語で記されたテキストを用いて心理学の代表的な研究知見に触れる。学説・理論や研究法について知るとともに、専門用語・概念の背景を理解する。		○	◎		
学部統合科目1（総合融合）	選択学部統合科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			

学部コラボレーション科目1	選択 学部コラボレーション科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目2（認知行動）	選択 学部統合科目	○	2～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学の中核をなす認知・行動的側面を科学的・実証的に理解する。	◎	○			
学部統合科目3（表現思考）	選択 学部統合科目	○	2～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、映像や身体をめぐる思想、芸術表現について多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目4（コラボ）	選択 学部統合科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部コラボレーション科目2	選択 学部コラボレーション科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
心理学演習1・2	選択 学科選択科目A	○	3～4	専任教員の指導の下、少人数の演習形式を通じて、心理学の基礎知識や文献読解、研究手法、および研究計画やその実施・報告に関する経験と考察を深め、卒業論文をまとめる力量を培う。		○	○	◎	◎
知覚心理学（知覚・認知心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	視覚や聴覚など感覚・知覚情報処理過程や人の認知等に関して、その機序や障害について心理学的・脳科学的観点から理解を深める。		◎	○	△	
学習心理学（学習・言語心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	実験心理学の一領域としての、また、さまざまな行動援助の基礎領域としての、学習心理学全般について理解する。人の行動が変化する過程や言語の習得における機序についても理解する。		◎	○	△	
認知心理学（知覚・認知心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	人間の高次認知過程（記憶、言語、思考など）について、人の感覚・知覚も含めて、その特質や機序に関する実験的知見とモデル・理論について近年の研究動向を踏まえて理解する。また、障害に関しても学ぶ。		◎	○	△	
生理心理学（神経・生理心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	生体由来信号（脳波、心拍等）の計測を通じて、ヒトの心理過程を理解する生理心理学の方法論や理論、実用例を学ぶことを目的とする。脳神経系の構造及び機能、記憶や感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害についても理解する。		◎	○	△	
発達心理学	選択 学科選択科目B	○	1～4	発達心理学の主要領域を概観し、基礎的知識を習得するとともに、発達理解の方法を学ぶことを目的とする。認知機能の発達及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達、発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方、高齢者の心理等について理解する。		◎	○	△	
教育心理学（教育・学校心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	児童・生徒の心身の発達や学習に関する心理過程を学び、教育現場に関わるさまざまな問題及びその背景を含めて、心理学的現象を理解する。また、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解する。		◎	○	△	○
感情・人格心理学	選択 学科選択科目B	○	1～4	人格の形成過程や人格の基本的な諸理論に関する学習を通じて、性格の成り立ちについて学ぶとともに、心理学的な人間理解の発想を深める。感情に関する理論及び感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念及び形成過程、人格の類型、特性等について理解する。		◎	○	△	
社会心理学（社会・集団・家族心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	社会心理学を応用した研究を紹介して、社会心理学の現実社会への応用可能性を理解する。対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程、人の態度及び行動について、および家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響についても学ぶ。		◎	○	△	
産業・組織心理学	選択 学科選択科目B	○	1～4	産業・組織心理学の理論と知見を知り、その現代的意義を理解する。職場における問題（キャリア形成等）に対して必要な心理に関する支援や組織における人の行動についても理解する。		◎	○	△	○
臨床心理学概論	選択 学科選択科目B	○	1～4	臨床心理学の成り立ちや臨床心理学の代表的な理論について学び、臨床心理学の実践、つまり心理療法のプロセスやアプローチについて理解を深める。		◎	○	△	○
家族心理学（社会・集団・家族心理学）	選択 学科選択科目B	○	1～4	特に家族関係に着目しながら、集団及び文化が個人に及ぼす影響について学び、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程や人の態度及び行動について理解する。		◎	○	△	○
心理学研究法2	選択 学科選択科目C	○	2～4	心理学研究における実証的研究法、特に調査研究を計画・実施し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。実証的研究法（量的研究及び質的研究）、データを用いた実証的な思考方法および研究における倫理についても理解する。		○		◎	
心理学研究法3	選択 学科選択科目C	○	2～4	心理学研究における実証的研究法、特に質的研究を計画・実施方法し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。実証的研究法（量的研究及び質的研究）、データを用いた実証的な思考方法および研究における倫理についても理解する。		○		◎	
心理学研究法4（心理的アセスメント）	選択 学科選択科目C	○	2～4	心理学研究における心理検査を計画・実施方法し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開、心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査）、適切な記録及び報告について理解する。		○		◎	○

行動分析学	選択 学科選択科目D	○	2～4	行動分析学の枠組から、ヒトを含めた動物個体の行動の仕組みを理解し、社会的な問題の解決をめざす		◎	○		○
言語心理学(学習・言語心理学)	選択 学科選択科目D	○	2～4	人間の言語の特徴や人間が言語行動を持つことの意味について学ぶ。また、言語行動を含め、人の行動が変化する過程についても理解する。		◎	○		△
文化心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	ヒトが自然環境や社会的環境の中で築いてきた文化的な仕組み、枠組に関する歴史的側面や多様性について学ぶ。		◎	○		△
神経心理学(神経・生理心理学)	選択 学科選択科目D	○	2～4	神経科学、神経病理学、発達障害など、脳を含むヒトの神経組織メカニズムがいかに心の働きを下支えしているかを学ぶ。脳神経系の構造及び機能、記憶や感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害の概要等についても理解する。		◎	○		△
比較認知科学	選択 学科選択科目D	○	2～4	ヒトとヒト以外の動物を連続体と捉え、その認知能力の共通性と差異に着目することで、ヒトの認知能力の理解を目指す。		◎	○		△
学校心理学(教育・学校心理学)	選択 学科選択科目D	○	2～4	現代の教育・学校教育が直面しているさまざまな問題(いじめ、不登校、学級崩壊など)やその背景について理解するとともに、教育・学校現場における心理社会的課題と、そこで必要な具体的な支援方法や技法について学ぶ。		◎	○		○
精神疾患とその治療	選択 学科選択科目D	○	2～4	心の病について学ぶ。精神病圏の病、神経症圏の病、人格上の病などの特徴を学ぶとともに、診断方法、治療なども学ぶ。代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援等、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。		◎	○		○
心理学的支援法	選択 学科選択科目D	○	2～4	心理療法の倫理および様々な理論と実践の基本を知る。代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界、訪問による支援や地域支援の意義、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育等について理解する。		◎	○		○
司法・犯罪心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	犯罪心理学の概念、捜査行動と心理、目撃証言、非行臨床などを学ぶ。犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識や司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についても理解する。		◎	○		○
消費者心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	消費者の心理や行動に関わる心理学的知識の習得が目標である。消費に関わる現象に対して心理学的な「メガネ」を持って接近できる態度を身につける。		◎	○		○
コミュニティ心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	コミュニティモデルにもとづく心理援助の考え方と方法を、コミュニティ心理学の視座から追究する。		◎	○	△	
心理学海外体験プログラム	選択 学科選択科目D	○	1～4	基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域において、海外体験を通じて歴史的な経緯について触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。		◎	○	△	△
障害者・障害児心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	身体障害、知的障害及び精神障害の概要や障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について理解する。		◎	○	△	○
健康・医療心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	ストレスと心身の疾病との関係、医療現場における心理社会的課題及び必要な支援、保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援、災害時等に必要な心理に関する支援等について理解する。		◎	○	△	○
福祉心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、虐待についての基本的知識等について理解する。		◎	○	△	○
人体の構造と機能及び疾病	選択 学科選択科目D	○	2～4	心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害、がんや難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解する。		◎	○		△
自己理解・他者理解の心理学	選択 学科選択科目D	○	2～4	様々な領域における、コミュニケーションや対人関係の実践的な心理学の知見を学ぶことにより、日常場面からビジネスエントリー場面での人間関係を円滑にするためのスキルを得る。	△				◎
キャリアの心理学演習	選択 学科選択科目D	○	3～4	心理学の諸領域の知見を踏まえながら、キャリア形成において必要な実践的スキルを養う。	△				◎
卒業論文指導演習1・2	選択 学科選択科目E		4	専任教員の指導の下、卒業研究を計画・遂行し、卒業論文として成果をまとめる力量を培う。				○	◎
卒業論文	選択 学科選択科目E		4	心理学の基礎的学習を踏まえ、課題設定・研究実施・論文作成を行う。				○	◎
心理学実験実習2	必修 科目	○	2～4	心理学実験の計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、発展的な内容を具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎

心理学調査実習2	必修科目	○	2～4	心理学における調査、面接、テストの計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、発展的な内容を具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学原書講読（入門）	自由 自由選択科目		1～4	基礎的・導入的な内容を扱う心理学の英語の専門書や文献を扱い、英語文献を読むための基本的スキルを修得する。		△	◎		
短期海外留学プログラム	自由 自由選択科目		2～4	1ヶ月程度の短期海外留学プログラムを通じて、英語における全般的な力と異文化交流経験を育む。	◎		◎		
社会調査概論	選択 学科選択科目D	○	1～4	社会調査士資格関連科目として、社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解し、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項について学習する。		○			◎
社会調査設計法	選択 学科選択科目D	○	1～4	社会調査士資格関連科目として、社会調査の方法論的な側面に注目し、調査の企画・設計からデータの収集と整理に関する具体的な方法について理解する。		○		◎	
社会調査演習	選択 学科選択科目D	○	3～4	社会調査士資格関連科目として、心理学的な視点から、統計的な手続きに基づいた社会調査を行うために、調査の企画から実施、データ分析・報告書作成までの実践スキルを習得する。		○		◎	◎
情報処理	自由 自由選択科目		1～4	表計算ソフトを用いて、心理学データの取り扱いの基礎を身につける。データの入力、データの加工、図や表の作成の方法などを修得する。				△	△
関係行政論	自由 自由選択科目		2～4	保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野に関係する制度等について理解する。	○	○			△
公認心理師の職責	自由 自由選択科目		3～4	公認心理師の役割、公認心理師の法的義務及び倫理、心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取扱い、保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、自己課題発見・解決能力、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携等について理解する。	○	◎			○
心理演習	自由 自由選択科目		3	コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等、心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の修得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解など関する基礎的な知識及び技能の修得を目的とし、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討で取り上げることを通じて学習、理解する。	○	◎		△	◎
心理実習	自由 自由選択科目		4	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の施設において、見学等による実習を行いながら、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について基礎的な知識及び技能を学ぶ。	○	◎		△	◎
観光心理学	自由 自由選択科目		2～4	観光心理学について、研究者、実践家からお話をいただき、多面的な理解を深める。心理学が固有の学問領域のみならず、学際的、実践的な側面を持つという、心理学の新たな分野について広く紹介する。心理学および関連諸学への関心を高め、さらに現実社会に心理学を応用していく方法を考察していく。	△	○		△	◎
心理学英語文献講読演習1	自由 自由選択科目		2～4	心理学に関する英語の専門書や学会誌論文の読解能力、議論する能力を養う。		△	◎		
心理学英語文献講読演習2	自由 自由選択科目		2～4	心理学に関する英語の専門書や学会誌論文の読解能力、議論する能力を養う。		△	◎		
心理学英語表現演習1	自由 自由選択科目		2～4	心理学の専門的知識や研究内容を英語で表現する能力を養う。			△	◎	
心理学英語表現演習2	自由 自由選択科目		2～4	心理学の専門的知識や研究内容を英語で表現する能力を養う。			△	◎	
英語心理学研究法演習1	自由 自由選択科目		2～4	英語を使用言語として心理学研究の計画、実施、データ分析・解析のための知識と技法を修得し、データに基づく実証的な思考方法を身につける。		○		◎	
英語心理学研究法演習2	自由 自由選択科目		2～4	英語を使用言語として心理学研究の計画、実施、データ分析・解析のための知識と技法を修得し、データに基づく実証的な思考方法を身につける。		○		◎	
英語心理学特講	自由 自由選択科目		2～4	英語を使用言語として、基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域の特色ある研究内容に触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。	◎	◎	○		△